



☆☆ 6年生ありがとう ☆☆

3月21日（金）の卒業式まであと1週間となりました。

11日（火）に卒業式式場作成、13日（木）に卒業式予行練習が行われ、卒業式が近づいていることを改めて実感しています。

卒業式式場作成は、6年生への感謝の思いを込めて、4・5年生が椅子を並べたり、紅白幕を張ったり、すばらしい卒業式になるよう一人一人が進んで仕事を見つけて取り組みました。4・5年生の姿からは、6年生から大切な伝統を受け継ぐ覚悟が感じられ、とても頼もしく感じます。

また、校舎内には、6年生へのはなむけの言葉がたくさん飾ってあります。1年生から5年生が、それぞれが工夫を凝らし、6年生への感謝の気持ちを表したものです。

登下校の班や清掃班、行事などで、6年生が下級生に優しく声をかける姿は、いつもみんなのお手本でした。21日（金）には、6年生の門出をみんなでお祝いしたいと思います。



全校集会

～東日本大震災から14年～

3月11日（火）に下校時刻に合わせて全員が校舎前に集合し、午後2時46分に黙祷を行いました。

2011年3月11日の東日本大震災から14年となりますが、6年生が生まれる前の出来事で、東日本大震災のことをよく知らない子どもたち。

12日（水）の全校集会では、まず「東日本大震災のこと」について話しました。本宮市でも震度6弱の大きな地震が起き、家が壊れてしまった人もいたこと。沿岸地域には津波が襲い、家が流されてしまった人もいたこと。そして、原子力発電所の爆発が起こり、放射線を含む物質が出てしまい、たくさんの人が避難したこと。

次に「東日本大震災から学んだこと」について話しました。「自助」と「共助」、特に「かけがえのない自分の命を大切にすること」。また、「当たり前のことを当たり前と思わずに感謝して生活すること」について話をしました。

東日本大震災や昨年の能登半島地震などの影響で、今も多くの方が避難生活を余儀なくされています。当たり前のできることに感謝して、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。



ひがしにほんだいいんさい まな 東日本大震災から学ぶこと①

じじよ 自助

さいがい ほっせい
災害が発生したときに、
じぶんじしん かぞく
まず自分自身や家族の
み あんぜん まも
身の安全を守ること。



ひがしにほんだいいんさい まな 東日本大震災から学ぶこと②

きょうじよ 共助

ちいさ
地域やコミュニティと
まわ
いった周りの人たちが
きょうりょく たす あ
協力して助け合うこと。



ひがしにほんだいいんさい まな 東日本大震災から学ぶこと③

そして・・・

たったひとつの

かけがえのない
じぶん いのち たいせつ
自分の命を大切にすること

